

社保シリーズ

# 根管穿孔の封鎖

4

社保研究部

根管治療済みの歯が再治療にいたるケースには様々な原因がある。特に上顎大臼歯の場合には、副根管の見落とし、髄床底や根管口付近に穿孔が生じているケースがある。今回は穿孔のケースを症例で解説する。

## 症例解説

感染根管処置をする際に、根管側壁、髄室側壁または髄床底に穿孔があるため、根管内への滲出液などの進入の恐れがあるとき、充填によって封鎖することが保険で認められている。

費用は難度によらず、充填の「単純なもの」52点と充填材料を算定する。また、形成料もK Pの単純44点を算定する。

以前の通知では「アマルガム等で封鎖をした場合」となっていたため、充填材料を狭く捉える向きもあったが、06年4月の改定で「アマルガム等」が通知から削除されたことにより、光C Rなどの使用可否がより明確になった。

また、充填の際のE E・E B加算も算定できるが、研磨の費用までは算定できない。

この他、歯肉を剥離して行った場合は、歯槽骨整形手術の所定点数110点が算定できる。また、歯肉剥離と骨整形に伴い人工骨を填入した場合は保険医療材料料が別途算定できる。

この穿孔の充填封鎖は、歯内療法の一環だから、補綴物維持管理の期間中でも算定できる。また、補綴期間外であれば、封鎖後の失P Zなど、形成料も改めて算定でき、修復に関する点数は通常どおり算定できる。

しかし、チェックが厳しいレセコンでは補管中の充填と捉えたり、同一歯に対する同一初診内の二度目の形成だとして扱い、算定不可のエラーメッセージを表示するケースがある。そのため算定をあきらめるケースがあるのではないだろうか。

いずれにせよ、同一初診内に同一歯に対して形成が2回出てくるため、同月内に歯冠修復まで終えた場合などは、特に、違いがわかるようなレセプト記載が望ましい。

### 〈レセプト記載〉

病名：P e r、穿孔と併記するか、P e r名で摘要欄に「根管側壁穿孔」などと補う。

穿孔封鎖：歯冠修復・欠損補綴のその他欄または全体のその他欄に「K P 44 × 1 C R充(52+11)」と記載する。また、通常どおり歯冠形成、充填、充填材料欄でも良い。

歯肉剥離した場合：処置・手術のその他欄に「歯肉剥離110 × 1」と記載する。

形成料は、部位によらず単純なもの44点で算定する。

E E・E B加算が算定できる。充填後の研磨は算定できない。

加圧根充後は確認のレントゲンを撮影する。

メタルコア形成時に点数は発生しない。

### 情報提供文書の記載事項

#### 〈補管〉

- ・ 医療機関名、開設者名
- ・ 装着日
- ・ 補管の趣旨
- ・ 補綴部位 等

#### 〈口腔衛〉

- ・ 病名、病状
- ・ 治療内容、治療期間
- ・ 一連の指導計画
- ・ 指導内容の要点

- ・ 医療機関名
- ・ 主治の歯科医師名 等

#### 〈実地指〉

※D Hの業務記録簿に写しを添付

- ・ 指導内容
- ・ 指導開始および終了時刻
- ・ プラークの付着状況結果
- ・ 医療機関名
- ・ 指導を指示した歯科医師名
- ・ 指導した衛生士の署名

部 位	傷 病 名	診療開始日
6	C <sub>3</sub> 急性Per・穿孔	19年2月1日
6	歯肉息肉	19年2月1日
〔年齢〕 50歳, 男性		
〔主訴〕 奥歯の詰め物が取れた		
〔所見〕 6) カリエスにより根管部に穿孔あり		

月日	部 位	療 法 ・ 処 置	点 数
2 / 1		初診	180
		数年前にFCK脱離し症状無かったため自ら放置	/
	6	X-Ray(D) デジタル1 F	55
		歯槽骨には影響を認めない 根尖病巣(+)	/
		メタルコア除去	50
		浸麻(OA+2%キシロカインCt1.8ml)	/
		歯肉息肉除去	54
		KP(穿孔部)	44
		光CR充 (52+11)	63
		EE・EB	43
		ラバー	10
		感根処(3根管)	410
		EMR(MB12mm #45 ML12mm #45 D13mm #50)	60
		根貼(FG)	/
		仮封(EZ)	/
2 / 5		再診	38
	6	ラバー	10
		根貼(FG)	28
		仮封(EZ)	/
2 / 8		再診	38
	6	ラバー	10
		根充	110
		加圧根充(G.ポイント+Can)	150
		X-Ray(D) デジタル1 F	45
		根充状態良好	/
2 / 13		再診	38
	6	メタルコア印象(寒天+アルジネート)	/
2 / 17		再診	38
	6	メタルコアset	215
		失PZ+メタルコア加算 (160+30)	190
		連合印象(寒天+アルジネート)	60
		BT	14
		Tek(仮セ)	/
2 / 23		再診	38
	6	Tek除去	/
		12%金バラFCKset	661
		装着材料II(グセ)	12
		補管(提供文書の写し添付)	100
		口衛指(提供文書の写し添付)	100
		実地指	80
		歯間ブラシを用いたFCKの清掃を指導	/
〔2月分 6日分 2,944点〕			